

自ら社会的な視野を広めていく新聞活用のありかたを求めて

実践校第1年次 富士見町立本郷小学校 後澤 宏文

1 本校のN I Eの現状

本校は全校児童177名、各学年単級または2学級の小規模校である。N I E活動に関しては、高学年の当番児童がその日の新聞から興味ある記事を切り抜いて紹介する活動していた程度で、これまでほとんど取り組んで来なかった。N I E実践指定校として、本年度から2年間N I Eの実践研究をすることになり、4年1組18名でN I Eの実践を行った。私にとって初めての実践であり、新聞が子どもの学びや育ちに本当に役立つのだろうかという疑問もあったので、実践学級として1年目は、「4年生の子どもたちが新聞とどのように関わっていくのか」ということを総合的な学習の中で探してみたいと考えた。本校では、全校研究テーマ「追究を楽しむ子ども」を掲げ、子ども一人ひとりの問題解決学習を大切にしている。クラスの子どもの実態として、新聞を購読していない家が4軒あり、購読していても毎日読んでいる子はほとんどいなかった。時々読む子どもも、テレビ欄、4コマ漫画、プロ野球の結果程度であった。このような子どもたちが新聞と出会って、「追究を楽しむ」ことができるのかどうか。即ち、新聞と自分との間に何らかの接点を見だし、そこから自分の課題を見だし、追究を深めていくことができるのかどうかを探っていきたいと考えている。

2 N I Eで高めたい力

新聞には、子どもたちにとって身近な記事もあれば、ほとんど関わりのない距離的にも内容的にも遠い世界の記事も載っている。しかし、どの記事も現実の社会の出来事である。子どもたちが学校での学習を通して社会的に自立していくことを考えると、新聞との関わりを深めていくことは、それだけ社会に対しての関心を高めていくことにつながると考える。社会的な視野を広めてほしいと願っている。新聞の中の何に関心を持ち、どのように自分との関わりを作り出していくかは、当然子ども一人ひとり違うであろう。新聞を読み、自分の興味関心に合った記事を発見したり、課題を持って記事から学んだりする活動や、発見した事柄を友だちに伝えていく活動を仕組むことによって、社会事象についての自分なりの思いや考えを持ち、それを伝え合ったり深め合ったりする力を高めたいと考えている。

3 研究の概要

(1) 実践した教科等 ... 総合的な学習

(2) 新聞の提供状況

新聞については、10～11月の2ヶ月間、信濃毎日新聞・長野日報・朝日新聞・産経新聞・日本経済新聞・毎日新聞・読売新聞の7紙を無料で配達していただいた。この7紙を教室の後ろの大机に3日間置き、朝の10分間読書の時間に必ず読むようにした。

(3) 新聞を取り入れた授業をする上で特に工夫したこと

・新聞が来る10月までに、新聞を少しでも読めるように、学習に関わる記事(ゴミの記事)

や、大事件の記事（新潟県中越沖地震の号外）等を配布して、見出しやリードから内容を読み取る学習を行った。

- ・10月1日に新聞が来始めると同時に、新聞を読んで自分が気に入った記事を毎日1つ以上スクラップする活動を始めた。これは、子どもたちに自然な形で接点を見出してほしいと考えたからである。朝の10分間で見つけたお気に入りの記事を放課後にスクラップする活動を続けていった。この間、どの記事をスクラップするかは完全に子どもの興味関心に任せた。
- ・1ヶ月経ってから、集めた記事を友だちに紹介する活動を仕組んだ。集める過程で、自分なりのテーマに沿って読んだりスクラップしたりする子どもが多かったため、紹介するテーマを決めるようにし、自由な形式で発表するようにした。

4 具体的実践の紹介（下記6の実践以外の実践）

- （1）社会科のゴミの学習時に、富士見町で今年度から始まったゴミ分別収集の成果についての記事を提示した。ゴミ分別収集は面倒だけれど良いことではないかと考えていた子どもたちは、記事を読む前に、大きな成果があったのではないかと予想した。そして、記事から、燃やすゴミが減り、容器包装プラスチックゴミがリサイクルされたことを見つけ出し、学習の確認ができた。このとき、知りたい事柄が全て見出しとリードに書かれていたことから、新聞記事を全部読まなくても、見出しやリードを読めば知りたいことが分かることを学習できた。
- （2）新潟県中越沖地震の折に長野市で配られた号外を翌日子どもたちに増し刷りして配布した。揺れを体験したり、直後の大々的なテレビ報道で関心を高めていた子どもたちは、記事の見出しやリード、絵解きなどから新潟県や長野県の被害の様子を見つけ出し、口々に友だちに伝えていた。
- （3）社会見学のための新聞や、国語の壁新聞を制作した。このとき、子どもたちから実際の新聞を参考にしたいと申し出があり、それぞれに題号や見出し、段の組み方などを取り入れて制作していた。

5 単元展開

- （1）単元名 「ぼく・私が集めた新聞記事」

- （2）単元に行き付くまで

既に述べたように、学習に関わる記事や大事件の記事を使って、新聞の内容を見出しやリード等から読み取る学習を行った。

- （3）つけたい力の決め出し

学習指導要領のねらい に結びつく力

豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚の育成

←新聞の中に興味のある記事を見だし、主体的に読むことを通して、社会事象への関心や理解を高める。

自ら学び、考える力の育成

←記事を継続的にスクラップする中で、自分のテーマを設定し、テーマに沿って意欲的に記事を集めたり、記事の内容を友だちに伝えようと分かりやすくまと

めたりするなど、主体的に学び考える力を育てる。

個性を生かす教育の充実

- ← 集めてきた記事が、そのまま自分の興味関心や価値観を表すことから、記事を見返すことで自分自身の興味関心や価値観を自覚する自己発見力を培う。また、友だちに自分の生き方や考え方を伝える自己表現力を培う。

(4) 新聞を扱う上での創意工夫

新聞を読む時間の確保する。(毎朝10分間)

読む内容やスクラップする記事は、全て児童の興味関心に任せる。

スクラップしてきた記事を見返した感想から、友だちに何を伝えたいか、伝えられるかテーマを決めさせる。

友だちの発表の中での気付き・発見・疑問を伝え合い、友だちと自分の感じ方や考え方の共通点・相違点に気付かせる。

(5) 単元展開

単元のねらい

ア、新聞を毎日読み、自分の気に入った記事を進んで毎日スクラップすることができる。

イ、スクラップを続けながら、自分と新聞との接点を見出し、徐々に目的を持って新聞を読んだりスクラップする記事を選んだりすることができる。

ウ、自分の集めた記事を見返し、それを使って友だちに伝えたい内容や方法を決め出すことができる。

エ、集めた記事を使って、伝えたいことが伝わるように構成し、本やスクラップ新聞やランキングなどを製作できる。

オ、自分の集めた新聞記事の発表をしたり、自分と関連づけて友だちの発表を聞いたりすることを通してより強い意欲や目的意識を持って新聞を読むようになる。

単元の展開

学 習 活 動	教師の指導・支援	時
1 新聞を読み、気に入った記事を集める 「新聞記事を読んで、毎日一つ、面白いと思う記事を集めよう。」 	・新聞の見方を指導する。 ・新聞を読む時間(朝の読書の時間)と記事を集める時間(放課後)を確保する。 ・集めている記事について、その意図を問いかけ、認めることを通して、記事を集める視点を持たせるとともに、活動を継続する意欲を持たせる。	/
2 集めた記事を見返し、それを使って友だちに何をどう伝えるかを考える 「自分はこんな記事が好きなんだな。友だちに紹介したいな。」	・伝えたいことがはっきりしない児童との対話をし、伝えたいことを一緒に決め出す。	1

3 自分が伝えたいことや伝える方法を発表し、友だちの反応を知る 「こんなことを、こんな方法で伝えたいけど、どうかな？」	・子どもの学びの高まりから、友と関わり合う場を設定する。	1
4 伝える内容・方法を決定し、集めた記事から取捨選択してスクラップ新聞や本等を製作する 「伝えたいことが伝わるように記事を選んだり配置したり、書き込んだりしていこう。」	・伝えたいことが伝わりそうか問いかけ、そのための工夫などを促していく。 	4
5 自分がまとめたスクラップ新聞や本などを発表し、考えや思いを伝える 「伝えたいことが伝わったかな。」 6 気づき・発見・疑問を伝え合い、友と自分の感じ方や考え方の共通点・相違点に気付く 「友だちの集めた記事ともつながるところがあるな。」	・自他の伝えたいことや集めた記事の共通点・相違点について意識化させる。  ・各自の学習の様子から友だちと関われそうな部分を予めとらえておき、意図的に指名する。	6 本 時
7 自分のしてきた新聞記事を集める活動を問い直す 「集めてきてよかったな。」 「もっとこうすればよかったな。」	・友だちとの関わりから得た新たな視点を意識化させ、学習を再スタートさせる。	1
8 記事を集める活動に新たな課題を持って取り組む 「友だちの発表や発言のよいところをこれからの新聞記事を集める活動に生かしていきたい。」	・新聞スクラップの活動が終わっても、継続していく子どもがいてと思われる。その活動を紹介したり、新聞記事を学習にできるだけ取り入れたりしていく。	/

(6) 本時の活動

主 眼

自分が集めた新聞記事からスクラップ新聞や本を制作した子どもたちが、友だちの感想や疑問に応えながら自分の伝えたいことを伝えることを通して、または、友だちの発表と自分の集めた記事を関連づけて聞きながら疑問や感想を発表することを通して、自分の新聞記事を集める活動について新たな意欲や課題を持つことができる。

展 開

段階	学 習 活 動	教師の指導・支援
導 入 ・ 展 開	1. NTさんの発表〔わたしが好きな空〕を聞き、感想や疑問を出し合う（13分） 2. NHさんの発表〔4コマ漫画『あんずちゃん』ときれいな写真ベスト5〕を聞き、感想や疑問を出し合う（13分） 3. TY君の発表〔中日ドラゴンズの日本一になるまで〕を聞き、感想や疑問を出し合う。（13分）	（1, 2, 3に共通の支援） ○発表者には、伝えたいことを述べてから発表させる。伝えたいことの周囲に感想や疑問を板書していく。 ○発表内容と関連のありそうな児童を予めとらえておき、発言がない場合に意図的に指名していく。 （1, 2, 3に共通の支援）
整 理 発 展	4. 本時の感想をまとめる（5分）	○学習カードに友だちの発表への感想と自分とつながったことを、それぞれの発表について書く。 ・自分とつなげて書いたり、自分の活動に生かそうとして書いている記述は担任から紹介する。

評 価

- ・発表児童は、伝えたいことを伝えようと、堂々と発表したり質問や感想に応えたりすることができたか。
- ・聞く児童は、自分の集めた新聞記事と関連づけて友だちの発表を聞き、質問や感想を発表したり、学習カードに書いたりすることができたか。

（7）児童の様子から

本時のNHさんの発表後に、気づき・発見・疑問等を伝えあう場面

【NHさんの発表場面】 4コマ漫画のベスト5と、きれいな写真ベスト3の発表後

NH 4コマ漫画「あんずちゃん」のベスト5の中で、みんなの1位はどれですか？

5つのどれかに自分のマグネットをはってください。

〔1位... 7人 2位... 0人 3位... 2人 4位... 6人 5位... 1人〕

NH 1位の7人は私と同じで嬉しいんだけど、4位が一番いい人が6人もいて、びっくりしました。質問や感想はありますか？

NU NHさんは、新聞をいつも朝読んで、スクラップする写真を予約していたから、きれいな写真が集まったと思います。

IM 1位の写真がすごくきれいだと思いました。

MY 質問で、漫画はベスト5で、何できれいな写真だけベスト3にしたんですか？

NH それは、きれいな写真があんまりなかったからです。

T R あんずちゃんも面白いんだけど、(漫画に出てくる)お母さんやお祖母ちゃんがおもしろかったです。

A K ぼくも漫画を集めていたんだけど、ぼくが集めた「コボちゃん」も面白いので読んで下さい。

T R 私は「オジヤン君」という漫画を集めたんだけど、「あんずちゃん」の方が漢字も少なくてわかりやすいと思いました。

〔考察〕

漫画を作成した児童 A K・T R は、漫画のベスト 5 についての感想を、きれいな写真を集めていた児童 I R・N U は、写真についての感想を発表した。自分の集めた記事と結びつけて発言できた。

N H 児は、発表時は緊張していたが、「みんなの 1 位はどれですか？」と友だちに問うことを通して明るい表情・元気な声に変わり、友だちの反応を知ることによって満足感が得られたようだ。本時は自分の発表もあったためか、直前に発表した N T さんにも自分から挙手して感想を堂々と述べられた。

〔参観者の感想〕

- ・友だちの発表をじっと聴く子どもたち。自分の思いを堂々と述べる発表者。元気で明るい雰囲気の中で、自然と関わりが生まれ、互いの思いを述べ合っている姿が印象的でした。
- ・子ども同士のやりとりが発展的で、お互いを尊重し合う姿が見られました。N I E については知識もない中での参観でしたので、大変勉強になりました。
- ・子どもたちと新聞をうまく結びつけているなあと思いました。N H さんと先生の信頼関係がわかりました。しっかり発言していてすごい！
- ・友だちの発表に興味を持って聞いていたし、発言しやすい温かい雰囲気があってよかったです。全く知らないことに関しては子どもの世界が広がったのではないのでしょうか。
- ・子どもから「これ(学習カード)書かなきゃいけないじゃん。」→T「書きたい？」→C「うん！」→T「じゃあ書こうか。」...子どもの方から「先生、こんな支援をほしいな。」「こんなふうに次に授業を進めてほしいよ。」とリクエストし深めていっていた。まさに追究を楽しむ子どもの姿を見た気がしました。

(8) この授業を通じて授業者が学んだこと

普段は大人しく、教師のところにもあまり話に来ない N H さんが、新聞記事で 4 コマ漫画を集めながら、意味が分からないときは質問に来たり、面白いと思った日には友だちや教師に見せに来ていた。毎日楽しみにこの漫画を読んでいたことが分かった。それをまとめて友だちに発表する場面での堂々とした受け答えから、自分の本当に興味あるものや発見したものを伝えることが子どもにとって大きな喜びとなること、追究の楽しさにつながる事が分かった。

一人ひとりが違ったテーマで集めた新聞記事であっても、友だちの発表や集めた記事に興味を持ち、感想や疑問を述べたり自分の活動に取り入れたりしていけることが分かった。

6 研究のまとめ

各自の活動から

(単元展開 4 における各自の , 発表で友だちに伝えたいこと そのための準備)

U S [新聞] みんなに囲碁の面白さや、プロがやると凄いという思いを伝える。 囲碁の記事は毎日続いているから、それを縦に貼っていった、これがどう凄いかの理由や、最後に感想を書く。 囲碁のルールも書く。	N H [R] 4 コマ漫画「あんずちゃん」の面白いところを伝えて、みんなに読んでほしい。 写真のどんな所がきれいか紹介したい。 面白かった漫画ベスト 5 と、きれいな写真ベスト 3 を模造紙にまとめる。	M Y [新聞] 富士見町や原村であった出来事をみんなに知ってほしい。 富士見や原村の記事を集めて模造紙に新聞を作り、いつどんな事があったか詳しく書く。きれいな字で書く。	I M [新聞] 新聞にはこんなきれいな写真があるということをもみんなに伝えたい。 きれいな写真を模造紙にはって、写真の説明をちょこっと書く。はる場所を工夫する。
M A [R] 新聞にこんなにきれいな写真があるということをも伝えたい。 自分が気に入っている順にランキングにして、なぜその記事を選んだか書く。	S K [本] 僕が絵が好きなことが分かってくれるように作りたい。 絵が入っているお話の、絵の説明や、何でこの絵にして集めたのかを本にして中に書く。	N T [新聞] 私が空を好きだということをもみんな知らないから、空の趣味やどんな空が好きか知ってほしい。 空の写真を集めて「私のすきな空」という新聞を作る。好きな理由を書く。	A K [本] 4 コマ漫画「こぼちゃん」の面白い所・頭のいい所を紹介したい。 コボちゃんの本を作って、面白い所や頭のいい所を漫画の横に書く。
U T [本] 朝日新聞に「ののちゃん」という面白い 4 コマ漫画ののっていることを知ってほしい。 漫画を集めた本を作り、特徴や感想を書く。目次に一番面白い物を書く。	H M [R] 見た人が「すごくきれいだな。」とか、「新聞にこんなにきれいな写真がある。」ということを知ってほしい。 自分がきれいだと思った写真を模造紙に 15 枚貼って、感想を書く。	T Y [本] 中日ドラゴンズが好きなので、中日がこういう風に優勝したということをも伝えたい。 中日の写真とかを載せて、優勝への道のりが分かるようにする。感想や好きな理由も書く。	M N [本] 自然や自然に生きる物が大切だということをも分かってほしい。 自然の記事を集めて本を作り、記事の好きなところや記事から知ったこと、感想を書く。
T R [本] 4 コマ漫画でも事件などを表していることを知ってもらいたい。 最初に 4 コマ漫画を並べて貼って、記事は後ろの方に貼って、間に色の違う紙を挟んで本にする。漫画はどの事件と関係あるか書く。	H N [新聞] 将棋って面白いなあとか、すごいなあという事を伝えたい。 将棋の対戦の記事をはって、その下に、どちらが有利か、どこが有利かとか書く。 将棋のやり方や面白いところも書く。	G M [本] 読売新聞のコラム「四季」や自然についての記事を集めた本を作り、自然の大切さを伝えたい。 「四季」を集めた小さい本と、自然の記事を集めた大きい本を作る。記事の説明を書く。	A O [新聞] 僕の趣味や好きなスポーツを知ってもらいたい。 僕の好きな記事や漫画やスポーツの記事を貼って、新聞を作る。
K G [新聞] ぼくの好きな記事を見てもらって、ぼくの自己紹介をしたい。好きな 4 コマ漫画、食べ物、写真、スポーツの記事を集めて新聞を作り、記事のどこがいいかを書く。	N U [R] 自分がどういう写真や記事が好きなのかを伝えたい。 気に入っている記事をランキングにして模造紙にはり、どこが気に入ったかを書く。	児童のイニシャルの後の〔 〕は、 〔 R 〕...ランキング形式 〔 本 〕...本の形式 〔 新聞 〕...スクラップ新聞の形式	

各自の活動の様子から、毎日新聞を読んでスクラップしていく中で、子どもたちは自分に合ったテーマを見つけ出し、そのテーマに沿った記事を集めたり、集めた記事を使って友だちに伝えようとしたりしていくことが分かった。

記事を集めていく中で N T 児が「私が集めた写真を見ていたら、空の写真が多かった。私

は空が好きなんだと分かった。」と報告に来たり，GM児が「四季っていう記事(コラム)は毎日載っているし，私が好きな自然のことを色々教えてくれるから大好き！」などのように，自分自身についての発見や新聞を読む楽しさの発見をしていくことが分かった。

以上のことから，学習指導要領でねらう〔自ら学び，考える力の育成〕や〔個性を生かす教育の充実〕に結びついたのではないかと考えられる。

7 残された課題

写真や漫画を中心に集めた子どもが多く，記事の内容に目を向けた子どもは少なかった。このことは，4年生としての自然な姿とは思いますが，本研究でも重要な目標としていた，〔社会的視野を広げる〕〔社会事象への関心を高める〕ことに結びついたかどうか疑問である。社会事象への関心を高められるよう，内容の面白さに目を向けさせる支援も考えていきたい。